

R・B・K EYE

VOL. 178

2016. JUNE

編集責任 飯嶋 薫

1. 中間ゾーン不振打開の方策が見えた懇親パーティー

去る6月中旬、渋谷ヒカリエで日本アパレル・ファッション産業協会（JAFIC）の懇親パーティーが開かれました。若手のファッションショー、一般学生のファッションサークルによる展示、テキスタイル・ニット産地のインスタレーションを織り混ぜて、アパレル企業、産地企業、クリエイター、学生が各産地の名酒を手で交流したのです。

JAFICの総会後のパーティーは、従来はホテルで経産省の担当官や代議士、素材や小売りの関連業界団体代表を招いて行ってきましたが、今回は趣向を変えて、JAFICが運営する若手クリエイターとアパレル企業の出会いを仲介する事業「JAFIC PLATFORM」に登録している100人のクリエイターのうち、30人の作品をショーで披露するとともに、毛織物の尾州、先染め綿織物の播州、合織の石川、ニットの新潟の4産地とのコラボで各産地の得意技を製品でアピールしました。

実は、JAFICの会員企業の多くは、アパレル中間ゾーンを主戦場にしています。このため、昨今の中間ゾーン不振の陰は会場にも底流していて、現状に対して「厳しい」との声が聞こえました。しかも、中間ゾーン不振の根底には、消費者の嗜好、購買形態の変化があるとの認識から構造的なものだとの危機感が強まっています。

そうした中での今回の懇親パーティーは、現状を打開する上で、単なるパーティーでは得られない成果をあげるきっかけになるかもしれません。新趣向の中に「中間ゾーン不振打開」の方策があったからです。ファッションビジネスの要素は、折に触れて「創・工・商」だと言われますが、その3要素がパーティー会場に揃っていました。

若手クリエイターのクリエイション、産地企業の高度な素材と技術力、アパレル企業の企画・販売力を持ち寄り、純国産製品である「J∞QUALITY」商品を開発することが、中間ゾーン不振を打開する方策です。会場には大西洋日本百貨店協会会長も姿を見せていました。再び低価格商品がもてはやされそうな状況だからこそ、百貨店も低価格品とは明らかに一線を画したファッションブルな新商品を望んでいます。

JAFICの総会後の新たな懇親パーティーは、期せずして厳しい現状を突破する方策を具現化したように思えます。自らが導き出した方策に対して、後は具体的に実践するかどうか。中間ゾーンの不振打開とアパレル企業復活のカギは、そこにこそあるのではないのでしょうか。

2. オールドネイビー日本撤退で SCの後継テナント探しが本格化

5月下旬、米ギャップはリストラの一環として、傘下の低価格カジュアルブランド「オールドネイビー」を日本から撤退させることを発表しました。2017年1月期中に、全世界で「バナナリパブリック」の不採算店舗も合わせて75店舗を閉鎖する計画で、そのうち53店舗を日本の「オールドネイビー」が占めることとなります。これにより、今期は売上高が2億5000万ドル（約270億円）減る一方で、2億7500万ドル（約297億円）のコスト削減につながると試算しています。4月30日時点の「オールドネイビー」の店舗数は、北米で1029店舗、アジアで69店舗でした。日本に2012年に上陸してから4年足らずで年商は150億～200億円程度だったと推定されます。凸凹はあるものの売上げが好調な店

舗も少なくありませんでしたし、今春も3月にイオンモール堺鉄砲町（大阪府）、4月にはあまがさきキューズモール（兵庫県）に新店をオープンしたばかりで、デベロッパー関係者や従業員にとっても、寝耳に水のニュースでした。メンズ、ウィメンズ、キッズのファミリー型のMDで、1000~1500㎡の大型の売場を賄うことができ、知名度も高いため、SCのアンカーテナントの一つとしてリーシングされてきただけに、後継テナント探しには頭を悩ませそうです。H&Mも店舗網が広がったこともあり、一店舗当たりの効率は低下傾向にありますし、フォーエバー21も元気がありません。その分、候補に拳がっているのが、「ZARA」を擁するインディテックスの第2、第3の業態で出店余力の高い「ベルシユカ」「ストラディバリウス」、インテリア雑貨の「ZARAホーム」のようです。国内企業では、ストライプインターナショナル(旧クロスカンパニー)の「アメリカンホリック」が初年度に計画を上回る40店舗の出店が見込まれています。大手アパレルの撤退跡地への出店を狙った開発が的を射た形となっています。「オールドネイビー」の撤退により、さらに加速する可能性もあります。また、アダストリアは世界戦略ブランドと位置付ける「グローバルワーク」「ニコアンド」の大型化や新業態を含めた複数のカードを持っているようです。ユナイテッドアローズも、グリーンレーベルリラクシングやコーエンを有しています。

ただし、最近ではSCの衣料品比率の引き下げがトレンドになっており、インテリア・雑貨や飲食・食物販、キッズの体験型パークのようなコンテンツも増えてくることとされます。「オールドネイビー」は違約金を払ってでも早急に撤退しなければならないほど、日本のオペレーションコストは高かったということと、日本の消費環境がそれだけシビアであると判断したということでしょう。又、関係者の声としては、イオンに積極出店が失敗との話もあります。

1995年に「ギャップ」が日本に上陸してから20年以上がたちますが、そのインフラやネットワークをもってしてもうまく展開できなかったということですから、新規の外資系カジュアルブランドの日本上陸は、当面なくなるのではないのでしょうか。Eコマースでも簡単に海外ブランドが手に入る時代ですし、未上陸ブランドに対するありがたみもなくなっていますし。

まずは、後継テナントに注目したいと思います。

3. アルコールが飲めるスタバ「スターバックスイブニング」の課題

仕事帰りにちょっと立ち寄ってリラックスしたい、そんなビジネスマンに向け、新しいサードプレイスを提供するをコンセプトに2010年アメリカでスタート、2015年にはイギリスでも始まり世界へ拡大しています。現在250店舗。基本は勿論コーヒーですが一角にスタンドバーを設け、ワイン+タルトレット、フラペチーノ等、ワインは白、赤850円。大人女子スタイルの提案です。六本木アークヒルズのスタバがリニューアルし、この新業態に転換したので早速に行ってみました。アークヒルズスタバの売りは二点ありましてはワイン+タルト1200円、もう一点はこだわりの豆に4つの抽出。方法はクローバー、プアオーバー、サイフォン、コーヒープレス490円~。今やコーヒーはサードウェーブの時代から更にこだわりのハンドドリップの時代へと変化してきていますがビジネスマンの街、アークヒルズで果たしてここまで必要なのかの疑問と、一番の売りのアルコール関連がメニューも少なく、魅力なく、中途半端な点が気になりました。

4. 中国各地の郷土料理店「黒猫夜」

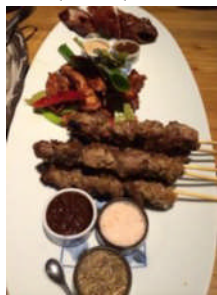
何とも不思議な名前の中華レストラン「黒猫夜」。中国のスラング「夜猫=夜通し飲む」に由来するそうです。赤坂店、六本木店に続いてオープンした銀座店はビルの8階。エレベ

ーターのドアが開くとそこはもうお店。テーブル席と個室があり席数は全部で50席位。普通ではお目にかかれないマニアックな料理、中華の定番メニューだけちょっと変わったスパイス使いが絶妙な個性的な料理の数々。どれを食べても美味しいのですが、お勧めは黒酢豚とパクチーサラダ。これは結構病みつきになる味です。店主の田中太郎さんが5年間中国全土を旅して出会った郷土料理と台湾の地方料理をアレンジしたもの。お酒も豊富で直接買い付けをしている紹興酒は常時20種類位、その他白酒、老酒などの地酒が勢揃い。お茶も色々な種類が揃っているのでお酒が飲めない方も食事とお茶のペアリングを楽しめます。サービスも感じが良く、料理の出ってくるテンポも丁度良い感じ。お値段も1人6000円〜とリーズナブル。夜はアラカルトでもOKですが、コースが何種類もあり、かなりコストパフォーマンスが高いのでお勧めです。夜は混んでいるので要予約です。カジュアルな店なので皆でわいわいという時にうってつけのお店です。

東京都中央区銀座7-8-15 第2新橋会館 8階 TEL:03-6280-6464

営業時間：ランチ 11:30~14:00

ディナー 18:00~24:00 (土は23:00まで) 定休日：日、祝



5. 絶品のラザニアが食べられる「Ristorante Cavacavallo」

原宿明治通り沿いの小さなビルの2階に外の喧噪を全く感じさせない、小さなイタリアンレストラン「リステランテカバカヴァッロ」があります。こちらの看板メニューは「15層のミルフィーユラザニア」。ラザニアと言えばイタリアのマンマの定番メニューでボリューム満点の1皿というイメージがありますが、こちらのラザニアとにかく繊細。薄い手打ちパスタを15層に重ね、層と層の間にじっくり3日間赤ワインで煮込んだボロネーゼとホワイトソースがはさまれています。表面はかりっと、中はしっとり舌がとろけてしまいそうな美味しさです。色々な種類のラザニアがありますが、まずは「数量限定ミルフィーユラザニア」がお勧めです。シェフとホールの女性2人で切り盛りしていますが、料理の出ってくるタイミングが絶妙です。きちんとお客様を見てもらっています。ランチはラザニアにサラダとデザートとお茶がついて¥2000~。パスタランチは¥1000。こちらの大人気のラザニアはネットで注文もできますし、時々百貨店の催事などにも出店しているそうです。

東京都渋谷区神宮前3-23-8 小嶋ビル2F TEL:050-5570-5889(予約専用)

営業時間：ランチ：11:30~15:30 (L/O 14:30)

ディナー：18:00~24:00 (L/O 22:30) 定休日：水曜日

<http://www.ristorantecavacavallo.co.jp>



今月のPATROL

世界のトップレベルを誇る日本の接客やサービス。そのリアルな現場を年間 1300 店以上見ている調査員がパトロール！時代が変化しても引継いでいきたい「おもてなし」を、調査結果と共に発信していきます。

乗り物業界もCS強化？ 笑顔満載の路線バスにほっこり



DATA>>> 小田急バス・京王バス
 関連 URL: <http://www.odakyubus.co.jp/>
<http://www.keio-bus.com/>

おもてなし評価

総合

95点



挨拶 4	★★★★☆
笑顔 5	★★★★★
パーソナルな対応 5	★★★★★
再乗車したいか 5	★★★★★

乗り慣れない路線バスって、ちょっと厄介そう
 でつつい敬遠しがちでした。。。by 調査員 AM

うっかりアナウンスを聞き逃し、目的の停留場を乗り越さないかとひやひやして乗っていた慣れない土地の路線バス。発着場所は同じでも、経路がいくつかある場合は、乗車前に目的地を通るのか確認なしには乗れないのに、ぶっさらぼうな返事しかない運転士さん。そんなイメージが強かったのが、路線バスって、あまり好きではありませんでした。

Point!

R・B・K 調査隊長よりヒトコト!

交通手段の1つに過ぎないから・・・は昔の視点。移動空間、移動時間も、いかにストレスなく、快適に過ごせるかが、今の視点のような気がする。運転士不足も耳にする



道路状況を考慮したアドバイス、会社の枠を超えた親切な対応にびっくり!

知人のお見舞いに路線バスを使って行くことになった日の事。駅のロータリーには、2社のバスが発車を待っていた。一方は大学病院行き、もう一方は大学病院経由吉祥寺行きのバス。発車時刻が早い病院経由のO社バスに乗車して、「大学病院に停まりますか?」と聞いてみた。すると、「停まりますが、今の時間帯だと、この経由の道は混むので、この後発車するK社のバスに乗られた方が少しだけ早く着かずですよ」と笑顔でアドバイス。なんて親切な運転士さん!



「ワンマンバス」のイメージを一掃!

笑顔で温かい対応が好印象!!

アドバイス通り、K社のバスに乗車すると、こちらの運転士さんも笑顔で「ご乗車ありがとうございます」となかなかいい感じ。発車前には名前を名乗り、「安全運転に努めますが・・・」と急ブレーキをかける場合もあることを説明。各停留所に近づくと、女性の声でテープのアナウンスが流れるが、それに続いて運転士さんからもよく通る声で案内があった。これなら聞き逃しはまずないでしょう。「△△に行くのはこのバスでいいですか?」と乗車時に聞いていたお客様には、降りる際に「右手にまっすぐ行くと着きますよ」と案内。昔のワンマンバスとは全然違う親切な運転士さん、素敵です。



横断歩道でありがとうの会釈。

これからは路線バスにも乗ってみよう!

途中、降車の際に乗客の学生さんたちが「ありがとうございました」と運転士さんに挨拶をして行く姿にもほっこり。温かい空気が漂う車中はとても居心地の良いものでした。それから目的地に到着し、横断歩道を渡りながら信号待ちで停車中の車を見ると、なんと先ほど乗車する予定だったOバス。「本当にKバスの方が早かったんだ」と運転席を見ると、運転士さんが笑顔で会釈。こちらも横断歩道の真ん中で思わずにっこりと会釈。苦手だと思っていた「知らない土地の路線バス」も考えを改め、TVではないけれど、「ぶらり路線バスの旅」も悪くないかもしれないと思えたひと時でした。